

～宇都宮駅徒歩1分に位置する県都宇都宮の玄関口～ 「宇都宮駅西口南地区第一種市街地再開発事業」 都市計画決定のお知らせ

栃木県宇都宮市における「宇都宮駅西口南地区第一種市街地再開発事業（以下、本事業）について2021年4月5日付で宇都宮市より都市計画決定の告示がなされましたので、お知らせします。本事業は宇都宮駅西口南地区市街地再開発準備組合により進められており、旭化成不動産レジデンス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：兒玉 芳樹、以下「当社」）は事業協力者として参画しております。

1. 本事業の経緯

本事業が位置するJR宇都宮駅西口周辺地区においては、地区内の敷地が細分化されており、老朽化した建物が目立ち、土地の十分な有効活用ができていないという課題がありました。そこで宇都宮市は2013年3月にJR宇都宮駅西口周辺地区（約11ha）を対象に、「JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本構想」を策定し、JR宇都宮駅西口周辺地区を質の高い高次な都市機能を伴う広域交流拠点と位置付けております。

今回、都市計画決定された本事業は権利者8名で、2018年12月に準備組合が設立されております。2019年に事業協力者として当社が選定され、本事業を推進してまいりました。

2. 位置図と完成予想図



現地位置図（地理院地図より作成）



外観イメージパース（予定）

【問い合わせ先】

旭化成ホームズ株式会社 広報室 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
（電話）03-6899-3010 （FAX）03-6899-3400 （メール）j-koho@om.asahi-kasei.co.jp

3. 物件の概要

事業の名称	宇都宮駅西口南地区第一種市街地再開発事業	
所在	栃木県宇都宮市駅前通り三丁目	
地区面積	約 0.2ha	
施行者の名称	宇都宮駅西口南地区市街地再開発組合（予定）	
延べ面積	約 13,500 m ²	
主要用途	住宅 ・ 商業	
法規制等	用途地域：商業地域、容積率：700%、高度利用地区、防火地域	
事業関係者	事業推進コンサルタント	株式会社再開発計画オフィス
	事業協力者	旭化成不動産レジデンス株式会社
	基本計画	AIS 総合設計株式会社

4. 本事業の意義と当社の取り組みについて

JR 宇都宮駅周辺は LRT※や駅東口の交流拠点施設の整備により、宇都宮の産業や生活文化の発展を支える都心部の核として、今後賑わいの創出が期待されるエリアです。

本事業は中でも駅から徒歩 1 分の好立地であることから、県都宇都宮の玄関口としてふさわしい都市機能の整備を図ることを再開発の目的としています。

当社は事業協力者として、これまでの市街地再開発事業で培った、権利者様と個別の課題を一つ一つ解決しながら行う「合意形成力」の強みを活かすとともに、あわせて参加組合員予定者として保留床を取得することにより、早期の事業実現に向け当地区の再開発を支援して参ります。

※LRT：Light Rail Transit の略。最新の技術が反映された次世代型の路面電車のこと。

5. 今後のスケジュール

2021 年度	再開発組合設立認可（予定）
2022 年度	権利変換計画認可（予定）
同年度	工事着工（予定）
2024 年度	竣工引渡（予定）

※ご参考：栃木県内での当社再開発事業

【城山町二丁目第一地区第一種市街地再開発事業（栃木県小山市）】

2021 年 3 月竣工 / 商業・業務・住宅（総戸数 144 戸）



■権利変換認可時のニュースリリース ↓

<https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/press/20180727/index.html/>

以上